

平成29年度 基本事業評価シート（平成28年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 04 健康づくりの推進
基本事業 05 地域医療体制の確保
主管課： 保健センター
関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	市民が、いつでも安心して医療が受けられる体制を整備する。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市内の医療施設の数が増えていると思う市民の割合				(%)	保健センター
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
52.70	53.40	51.60	52.30	53.00	55.00
向上指針	上がると良い	(状況) 昨年度と比較して1.8ポイント減少しています。 (原因) 実績値を昨年と年代別で比較すると20歳代で増加し、30歳代、40歳代以降、65歳～69歳代で減少しています。30歳代、40歳代では身近な医療機関の充実、65歳～69歳代では専門性のある高度医療機関を求めるためと考えます。 病院については県の医療計画に基づくため増やすことができません。一般診療所数及び歯科診療所数は昨年より増加しています。 市内医療機関情報を市民に対し、よりわかりやすく周知する方法を検討していきます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

身近なかかりつけ医のある市民の割合				(%)	保健センター
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
59.50	57.20	58.80	61.00	63.20	70.00
向上指針	上がると良い	(状況) 昨年度と比較して1.6ポイント増加しました。 (原因) H28実績値を年代別に見ると10歳代～50歳代は40%台～50%台の間にあり、60歳代以上は60%台～70%台の間となっています。また、専業主婦、市内勤務の方は60%台ですが、勤務先が他県内の方は40%台と低い状況となっています。働く世代は勤務地付近で受診していることも考えられます。受診の機会が多くなる世代では、身近な地域でかかりつけ医に受診していると考えますが、かかりつけ医の必要性について広報等を通じ周知に努めます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H26年度 決 算	H27年度 決 算	H28年度 決 算	H29年度 予 算	H30年度 見 込
事業費合計	33,880	15,117	15,617	16,408	16,408
人件費	0	0	586	0	0
トータルコスト	33,880	15,117	16,203	16,408	16,408

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

救急医療体制も含めて、県・近隣自治体と連携し、地域医療体制を維持していきます。 市民に対し、わかりやすい情報の提供に努めます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	維持
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]